

2013年3月期 第2四半期 決算説明資料



KANEMATSU CORPORATION

2012年11月9日

本説明会・資料における当社グループの今後の計画・見通し・戦略等、将来に関する記載は、当社が現時点において把握可能な情報をもとに判断したものであり、これらは様々なリスクや不確実性が内在しております。

従って、経営環境の変化、未知のリスクの顕在化、およびその他様々な要因により、実際の業績等の結果は大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。



1.	2013年3月期第2四半期 決算概要	・・・	3
2.	2013年3月期 通期見通し	・・・	15
3.	Appendix	・・・	23



1

2013年3月期第2四半期 決算概要



2013年3月期 第2四半期決算概要 (P/L項目)

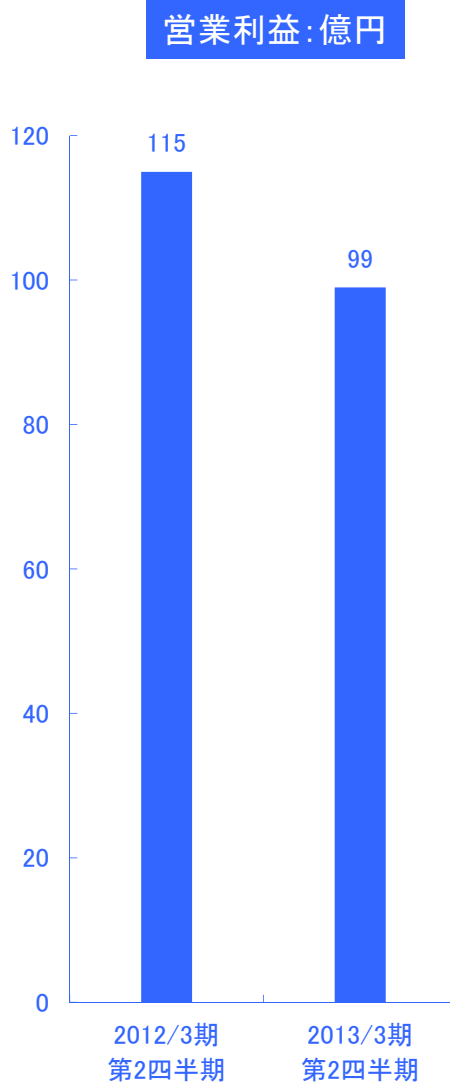
前年同期比、減収減益

(億円)	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減額	増減率	見通し	進捗率
売上高	4,934	4,872	-62	-1.3%	10,500	46%
営業利益	115	99	-16	-14.1%	200	50%
経常利益	95	88	-7	-7.0%	160	55%
四半期純利益	64	60	-4	-5.8%	80	75%
(参考) 四半期包括利益	46	51	5	10.9%	-	-

■ 前年同期比では減収減益ながら、通期見通しに対しては順調な進捗



2013年3月期 第2四半期決算概要(P/L)

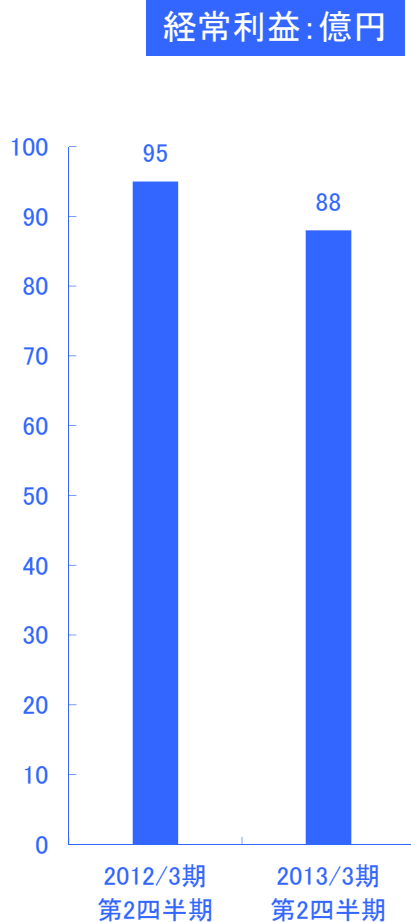


(億円)	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	4,934	4,872	-62	-1%
売上総利益	408	400	-9	-2%
売上総利益率	8.3%	8.2%	-0.1%	
販管費	293	301	8	3%
人件費	156	165	8	5%
物件費他	137	136	-1	-1%
営業利益	115	99	-16	-14%
営業利益率	2.3%	2.0%	-0.3%	

■ 事業拡大戦略に伴う人件費増加等もあり、営業減益。



2012年3月期 第2四半期決算概要(P/L)



(億円)	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減額	増減率
営業外収支	-21	-11	+10	-
金融収支	-14	-10	-	-
受取利息	2	2	-0	1%
受取配当金	5	5	0	10%
支払利息	-21	-18	3	-
持分法損益	-2	-0	2	-
為替差損益	-2	2	4	-
その他営業外収支	-3	-2	1	-
経常利益	95	88	-7	-7%

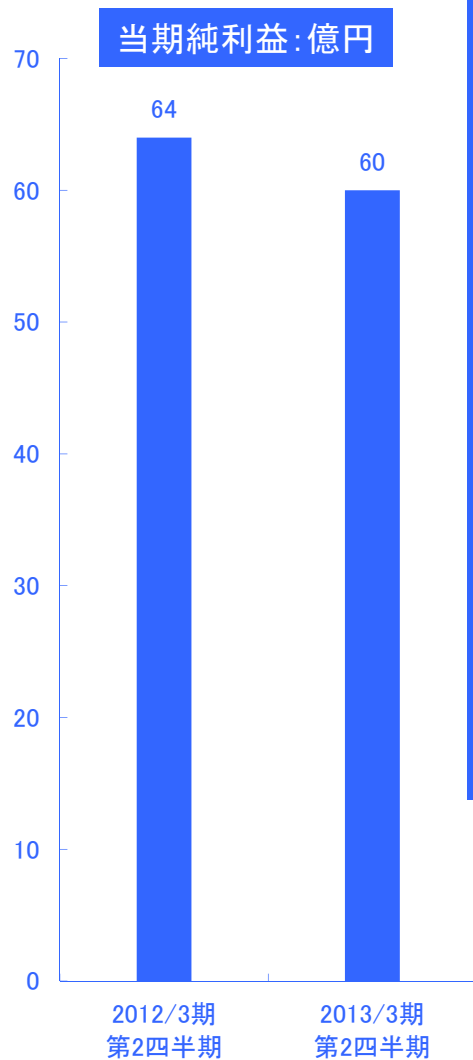
基礎的収益力(※)	100	89	-11	-11%
-----------	-----	----	-----	------

(※) 基礎的収益力 = 営業利益 + 貸倒引当金繰入額 + 受取配当金 + 金利収支 + 持分法損益

- 支払利息の減少や持分法投資損益の改善および為替差損益の良化等により、営業外収支は良化。



2013年3月期 第2四半期決算概要(P/L)



(億円)	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減額	増減率
特別損益	-3	8	10	-
特別利益	1	25	24	-
特別損失	-4	-17	-14	-
税引前利益	92	96	4	4%
法人税等	-21	-27	-6	-
少数株主利益	-7	-8	1	-
四半期純利益	64	60	-4	-6%

- 特別損益は、減損損失や投資有価証券売却損などの計上があった一方、投資有価証券売却益などの計上により、8億円の利益。
- 税金費用の増加などにより、四半期純利益は減益。

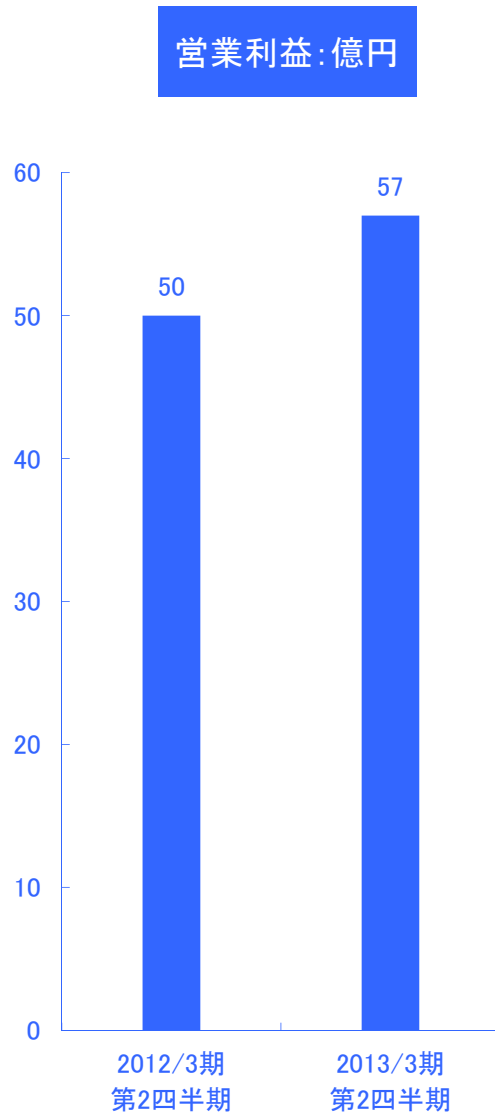


2013年3月期 第2四半期決算概要(セグメント別実績)

(億円)	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高 (外部売上高)	4,934	4,872	-62	-1%
電子	1,250	1,305	55	4%
食品・食糧	1,461	1,426	-35	-2%
鉄鋼	513	468	-45	-9%
機械・プラント	359	271	-89	-25%
環境・素材	1,261	1,308	47	4%
その他(含む調整額)	89	94	5	5%
営業利益	115	99	-16	-14%
電子	50	57	7	14%
食品・食糧	30	18	-13	-42%
鉄鋼	19	14	-5	-27%
機械・プラント	4	5	1	23%
環境・素材	9	3	-6	-69%
その他(含む調整額)	3	2	-0	-14%



2013年3月期 第2四半期実績(電子)



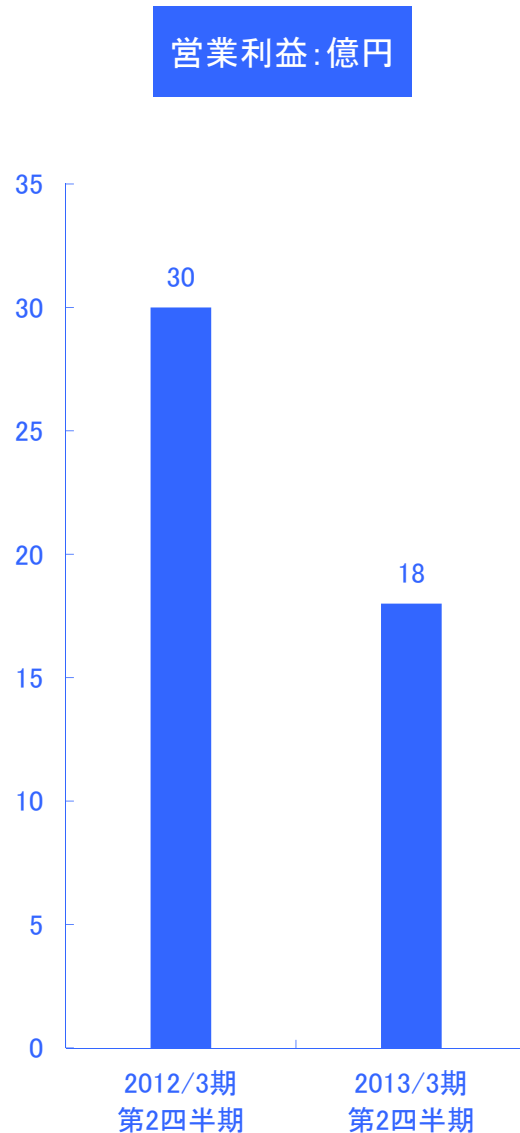
(億円)	2012/3 2Q実績	2013/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	1,250	1,305	55	4%
売上総利益	208	223	15	7%
営業利益	50	57	7	14%

2013年3月期 第2四半期実績のポイント

- ICT・モバイルソリューション事業は、引き続きスマートフォンの買い替え需要など携帯端末市場の好況を受け、順調に推移。
- 前期は震災の影響等により低調だった半導体部品・製造装置事業も、当期は比較的好調に推移。



2013年3月期 第2四半期実績(食品・食糧)



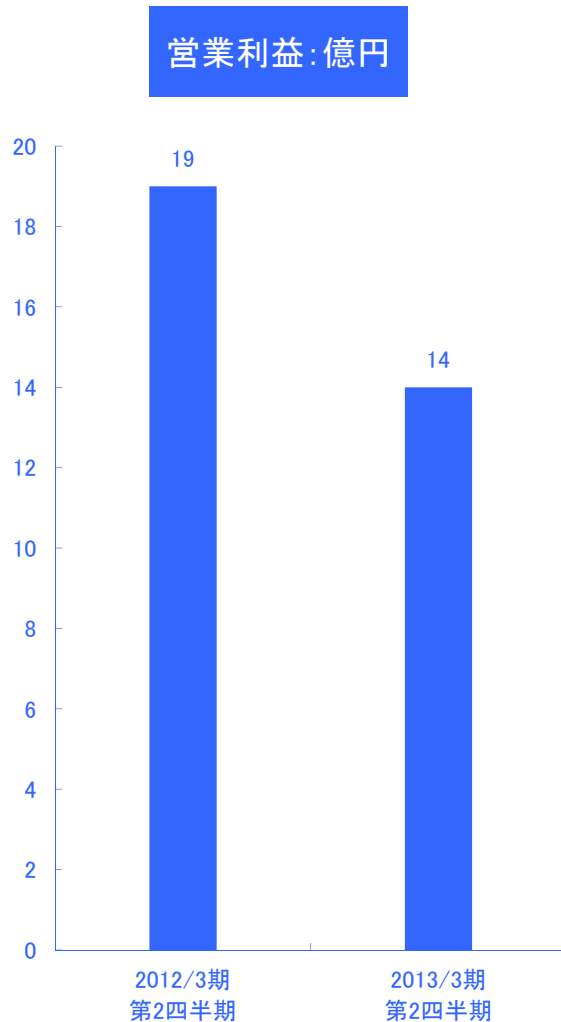
(億円)	2012/3 2Q実績	2013/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	1,461	1,426	-35	-2%
売上総利益	72	62	-11	-15%
営業利益	30	18	-13	-42%

2013年3月期 第2四半期実績のポイント

- 食品事業は、需給環境が比較的安定しており、堅調に推移。
- 畜産事業は、需要を超えた輸入数量の増加や畜肉の国内生産増加等による市況低迷の影響で低調に推移。
- 食糧事業は、米国大干ばつの影響で穀物市況が高騰する中、米国以外からの原料調達を図り、安定供給に努めてきたものの苦戦。



2013年3月期 第2四半期実績(鉄鋼)



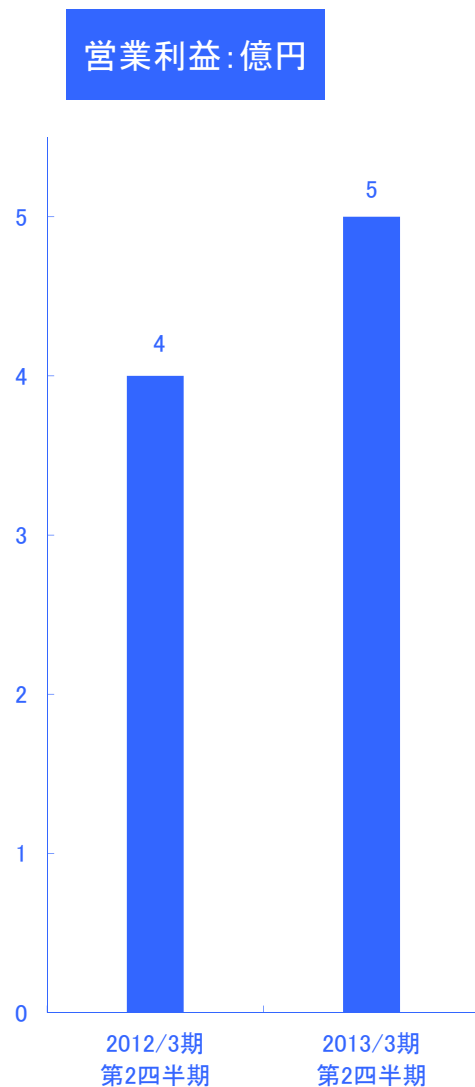
(億円)	2012/3 2Q実績	2013/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	513	468	-45	-9%
売上総利益	37	33	-4	-11%
営業利益	19	14	-5	-27%

2013年3月期 第2四半期実績のポイント

- 北米向け鋼管取引が堅調に推移する一方、アジア向け鋼板取引が苦戦。
- 産出国の規制等により、鉄鋼原料の取扱い量が減少。



2013年3月期 第2四半期実績(機械・プラント)



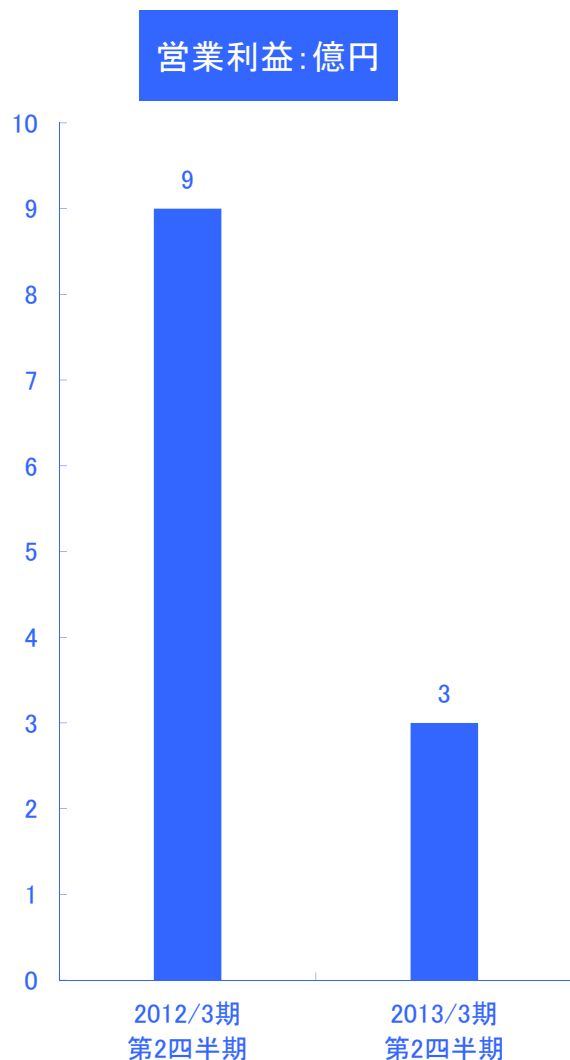
(億円)	2012/3 2Q実績	2013/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	359	271	-89	-25%
売上総利益	33	33	0	1%
営業利益	4	5	1	23%

2013年3月期 第2四半期実績のポイント

- 工作機械・産業機械関連取引は、設備投資需要や設備更新需要を取り込み順調に推移。
- プラント関連取引は、政府ODA事業を中心に堅調に推移。
- 輸送機関連取引は、アジア向け輸出が低調。



2013年3月期 第2四半期実績(環境・素材)



(億円)	2012/3 2Q実績	2012/3 2Q実績	増減額	増減率
売上高	1,261	1,308	47	4%
売上総利益	44	36	-8	-19%
営業利益	9	3	-6	-69%

2013年3月期 第2四半期実績のポイント

- 化学品事業は、車載用電池原料の輸出取引が低調だった一方で、医薬品原料・健康食品の輸入取引は堅調に推移。
- エネルギー事業は、市況が高止まりする中、取引数量は堅調に推移したが、販売先への価格転嫁が進まず苦戦。

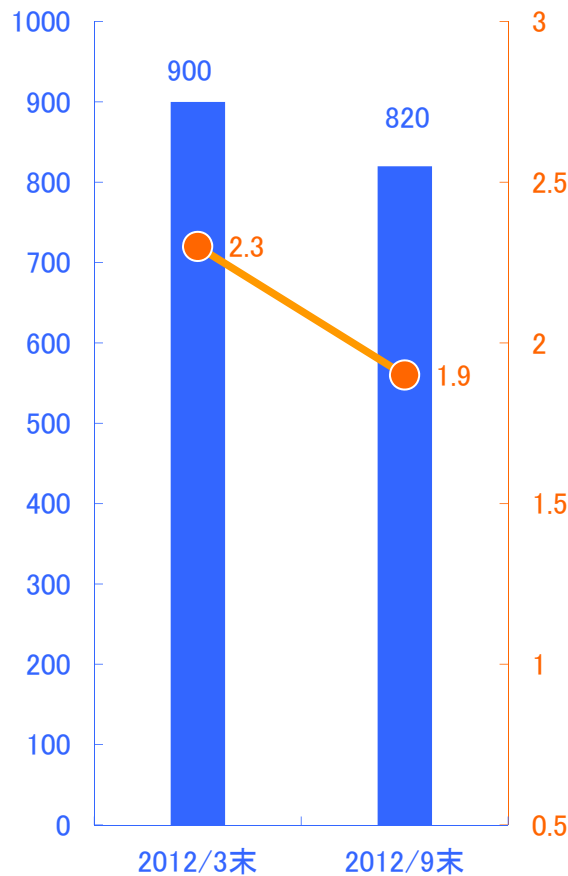


2013年3月期 第2四半期決算概要 (B/S項目)

財務体質は着実に改善

ネット有利子負債: 億円

ネットDER: 倍



(億円)	2012/3末	2012/9末	増減額	増減率
総資産	3,998	3,731	-267	-7%
純資産	560	609	49	9%
自己資本 ^(注1)	390	434	44	11%
自己資本比率 ^(注2)	9.8%	11.6%	1.8%改善	
グロス有利子負債	1,608	1,439	-169	-11%
ネット有利子負債	900	820	-80	-9%
ネットDER ^(注3)	2.3倍	1.9倍	0.4改善	

注1: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分

注2: 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

注3: ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

- 借入金返済を進め有利子負債が減少。
四半期純利益の積み上げにより自己資本が増加。
結果、自己資本比率・ネットDERともに改善。



2

2013年3月期 通期見通し



2013年3月期 通期見通し

(億円)	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期見通し	増減額	増減率
売上高	10,064	10,500	436	4%
営業利益	214	200	-14	-7%
経常利益	178	160	-18	-10%
当期純利益	61	80	19	31%

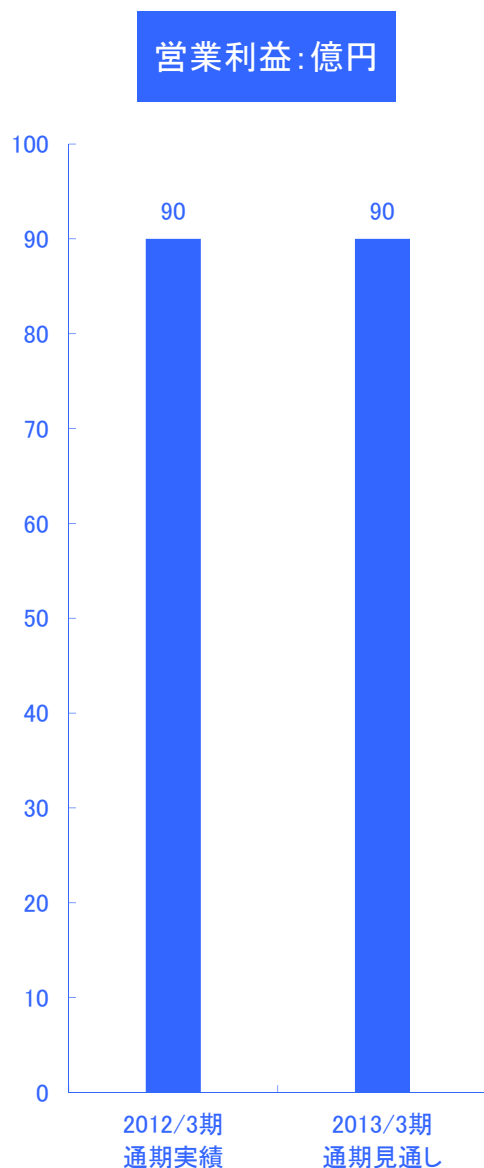


2013年3月期 通期見通し(セグメント別見通し)

(億円)	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期見通し	増減額	増減率
売上高 (外部売上高)	10,064	10,500	436	4%
電子	2,531	2,650	119	5%
食品・食糧	2,921	3,100	179	6%
鉄鋼	991	1,050	59	6%
機械・プラント	704	700	-4	-1%
環境・素材	2,737	2,850	113	4%
その他(含む調整額)	179	150	-29	-16%
営業利益	214	200	-14	-7%
電子	90	90	0	0%
食品・食糧	52	50	-2	-4%
鉄鋼	36	35	-1	-3%
機械・プラント	14	10	-4	-31%
環境・素材	20	15	-5	-24%
その他(含む調整額)	2	0	-2	-



2013年3月期 通期見通し(電子)



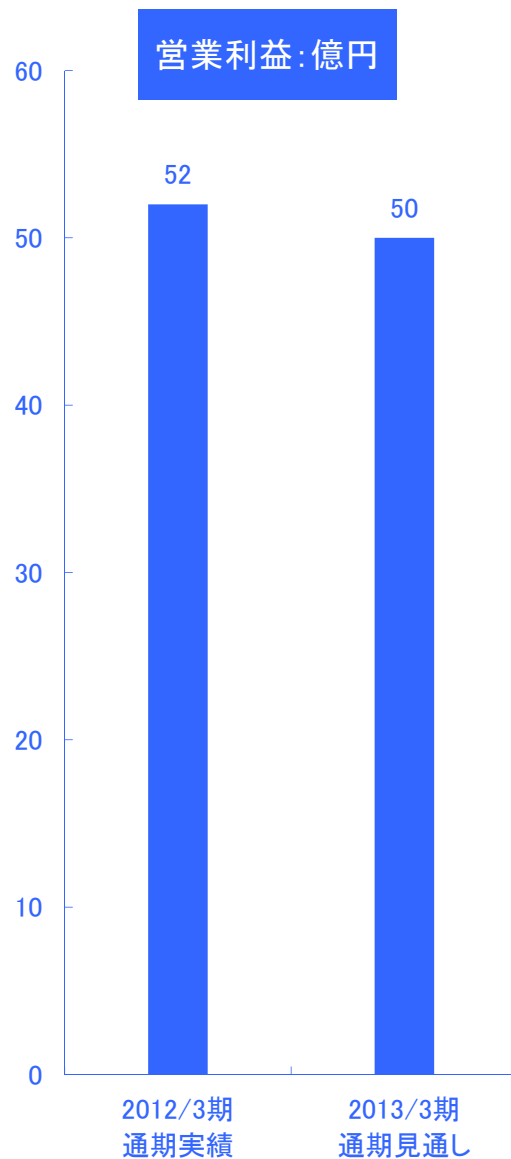
(億円)	2012/3	2013/3			
	通期実績	2Q実績	通期見通し	通期	
				増減額	増減率
売上高	2,531	1,305	2,650	+119	+5%
売上総利益	413	223	425	+12	+3%
営業利益	90	57	90	0	0%

2013年3月期 通期見通しのポイント

- ICT・モバイルソリューション事業は、引き続きスマートフォンの普及拡大により順調に推移する見込み。
- 半導体部品・製造装置事業は、スマホ・タブレット端末等の好況を背景に、販売増加を目指す。



2013年3月期 通期見通し(食品・食糧)



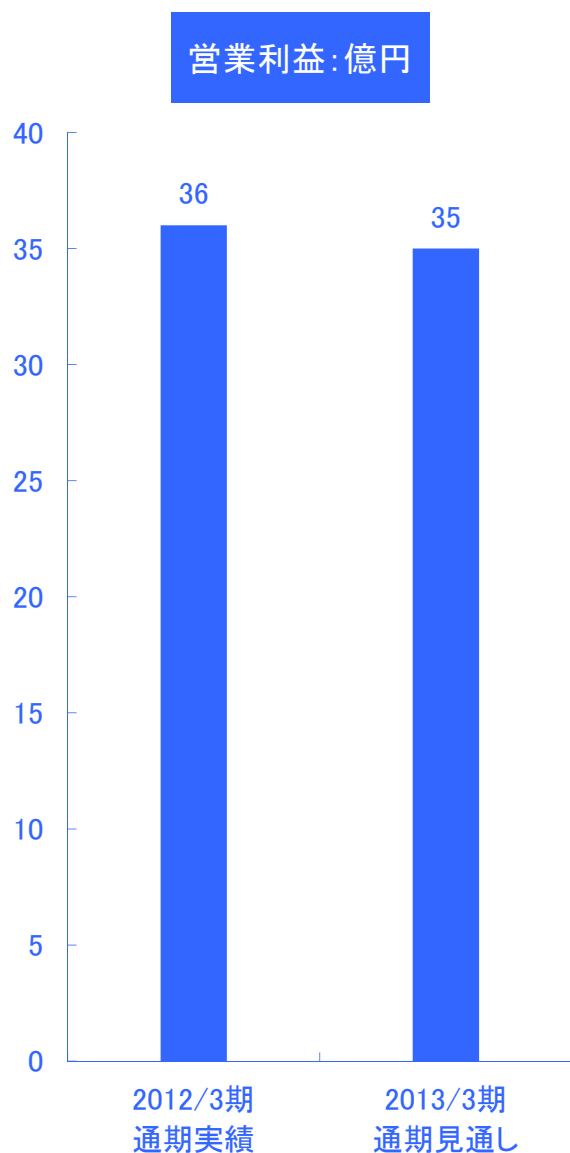
(億円)	2012/3	2013/3			
	通期実績	2Q実績	通期見通し	増減額	増減率
売上高	2,921	1,426	3,100	179	6%
売上総利益	137	62	140	3	2%
営業利益	52	18	50	-2	-4%

2013年3月期 通期見通しのポイント

- 食品事業は、国内外において加工・調理食品を中心に商材の安定供給と新規提案を通じ、取引の拡大を図る。
- 食糧事業は、穀物の原料調達地域の一部シフトによる安定供給が進み、収益も回復見通し。



2013年3月期 通期見通し(鉄鋼)



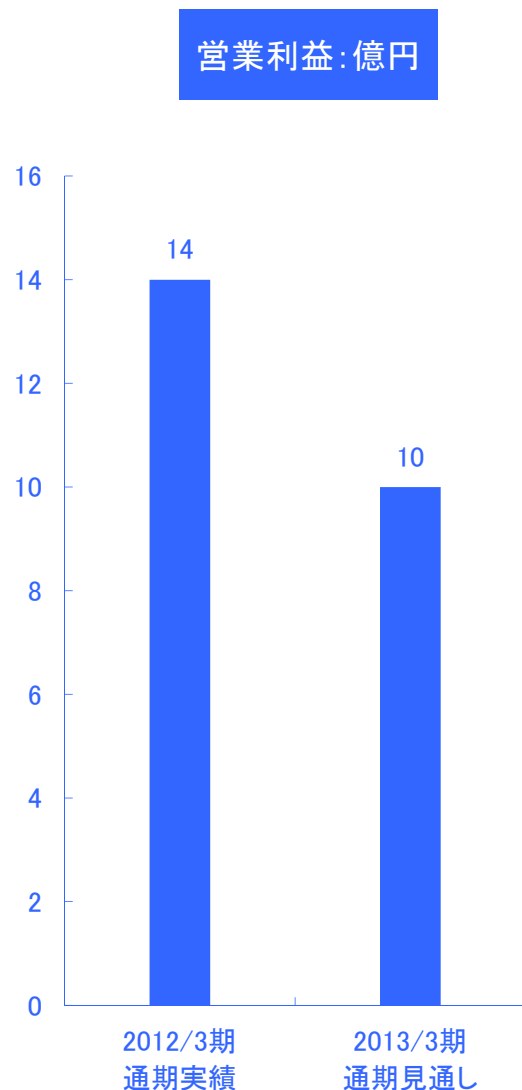
(億円)	2012/3	2013/3			
	通期実績	2Q実績	見通し	通期増減額	通期増減率
売上高	991	468	1,050	59	6%
売上総利益	74	33	75	1	2%
営業利益	36	14	35	-1	-3%

2013年3月期 通期見通しのポイント

- 特殊鋼及びステンレス製品取引は、欧米向けを中心に下期も堅調に推移する見込み。
- 北米での油井管事業は、活発な需要をベースに引き続き堅調に推移する見込み。



2013年3月期 通期見通し(機械・プラント)



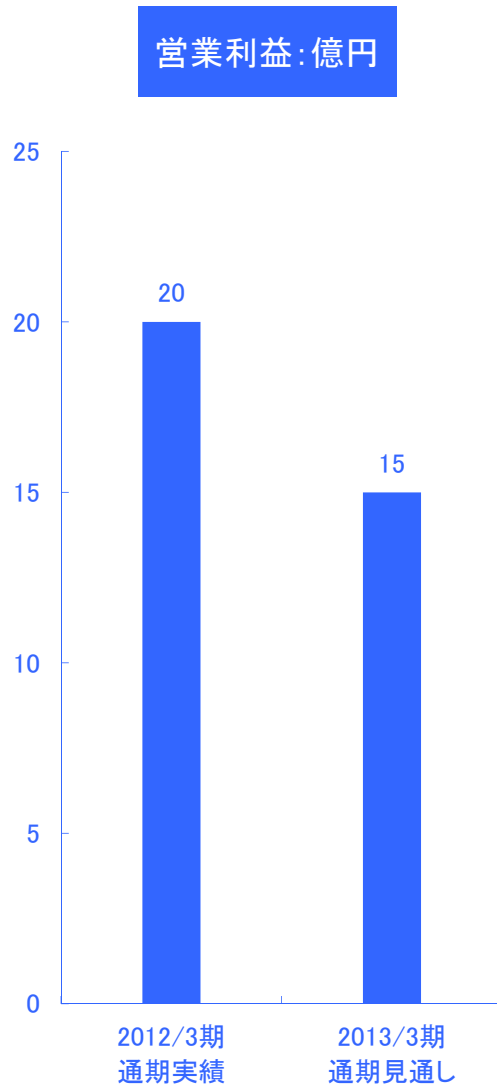
(億円)	2012/3	2013/3			
	通期実績	2Q実績	通期見通し	増減額	増減率
売上高	704	271	700	-4	-1%
売上総利益	70	33	70	0	0%
営業利益	14	5	10	-4	-31%

2013年3月期 通期見通しのポイント

- 工作機械・産業機械関連取引、政府ODA事業を中心としたプラント関連取引は順調に推移する見込み。
- 中国経済の失速、尖閣諸島問題などの影響により、輸送機関連ビジネスはやや悪化を見込む。



2013年3月期 通期見通し(環境・素材)



(億円)	2012/3	2013/3			
	通期実績	2Q実績	見通し	通期増減額	通期増減率
売上高	2,737	1,308	2,850	113	4%
売上総利益	92	36	90	-2	-2%
営業利益	20	3	15	-5	-24%

2013年3月期 通期見通しのポイント

- エネルギー事業は、今期中には販売先への価格転嫁が完了出来る見込みであり、引き続き堅調に推移。
- 化学品事業は、車載用電池原料の輸出取引は引き続き低調に推移する一方で、医薬品原料・健康食品の輸入取引は堅調に推移する見込み。








3

Appendix



兼松グループの事業概要

事業セグメント	主要な事業	主要取扱商品	主要グループ会社
電子 	半導体部品・装置	半導体・電子部品、電子モジュール・部材、半導体・液晶装置	兼松エレクトロニクス 兼松コミュニケーションズ 日本オフィス・システム 兼松エアロスペース 新東亜交易
	機構部品	車載部品、プリンタ関連機器、電子モジュール	
	ICT・モバイル	システムソリューション、通信機器・部品 携帯通信端末、モバイルコンテンツ、モバイル広告	
	航空宇宙	航空機、航空機部品	
食品・食糧 	食品	缶詰・冷凍・ドライフルーツ、果汁、ワイン、コーヒー、ココア、砂糖、胡麻、落花生、雑豆、蜂産品、ナッツ、種実類、油脂、乳製品、加工食品	兼松新東亜食品 兼松アグリテック 兼松ソイテック
	畜水産	畜産物、水産物	
	穀物・飼肥料・ペット用製品	小麦、大麦、米、大豆、加工食品、飼料、肥料、ペットフード、ペット用品	
鉄鋼 	鉄鋼貿易	各種処理鋼板、シームレスパイプ	SSOT 兼松トレーディング
	特殊鋼貿易	ステンレス、特殊鋼線材・条鋼	
	鋳鍛造品	精密鍛造品	
	国内鉄鋼・鉄鋼原料	鉄鋼製品全般、鉄鉱石、コークス	
機械・プラント 	輸送機	自動車、船舶、船舶用機材	兼松ケージーケー
	プラント・インフラプロジェクト	各種プラント、通信案件、ODA案件、光ファイバー、電力プロジェクト	
	工作機械・産業機械	工作機械、産業機械	
環境・素材 	原油・石油製品・ガス	原油、石油製品、LPG、排出権取引	兼松ベトロ 兼松ケミカル 兼松ウェルネス
	機能性化学品	リチウム電池原料、太陽電池関連部材、石油化学製品	
	ライフサイエンス	医薬品、医薬中間体、機能性食品素材、栄養補助食品	



関係会社および従業員の状況

1. 主要連結対象会社の売上高

(億円)	事業	持分比率	2012年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減額
兼松エレクトロニクス	ICTソリューション	58.28%	227	218	-9
兼松コミュニケーションズ	モバイル	100%	516	576	60
兼松新東亜食品	食品・畜水産	100%	80	108	28
兼松アグリテック	飼料酪農	100%	55	56	1
兼松トレーディング	国内鉄鋼 鉄鋼原料	100%	227	199	-28
兼松ケージーケイ	工作機械 産業機械	97.90%	194	203	9
兼松ペトロ	石油製品・ガス	100%	699	675	-24
兼松ケミカル	機能性化学品	100%	100	85	-15
新東亜交易	商社	100%	581	525	-56
Kanematsu USA Inc.	海外現地法人	100%	447	403	-44

2. 従業員の状況

(人)	2012年3月末	2012年9月末	増減
単体	806	812	6
連結子会社	3,964	4,043	79
合計	4,770	4,855	85

※従業員は就業人員数

(当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む)



関係会社の状況

1. 連結会社の黒字・赤字会社数推移状況

(単位:社)

(社数)	2012年3月期 第2四半期					2013年3月期 第2四半期					前年同期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字会社	35	28	9	10	82	27	31	8	8	74	-8
黒字比率	95%	68%	56%	67%	75%	77%	74%	62%	62%	72%	-3%
赤字会社	2	13	7	5	27	8	11	5	5	29	2
合計	37	41	16	15	109	35	42	13	13	103	-6

2. 連結会社の黒字・赤字額推移状況 (連結調整を加味しない単純合算ベース)

(単位:億円)

(億円)	2012年3月期 第2四半期					2013年3月期 第2四半期					前年同期比
	連結		持分		合計	連結		持分		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字額	27	6	1	1	36	63	8	1	0	73	37
赤字額	-	-1	-4	-0	-5	-6	-1	-1	-1	-9	-4
合計	27	5	-2	1	31	57	7	1	-1	64	33



“S-Project”概要

ビジョン

世界経済の激変の中で、『事業創造集団』として成長し、社会に貢献していきます。

基本コンセプト

- 事業の継続的な選択と集中を推進し、内外の商機を機敏に取り込むことにより、収益基盤の強化を図ります。
- 効率性・健全性を一段と高め、足場固め・経営基盤の強化を図ります。
- お取引先との信頼関係を深め、共に事業創造を追求します。

業績目標（2013年3月期）

- 連結売上総利益 800億円
- 連結営業利益 190億円

財務目標（2013年3月期）

- 自己資本比率 10%超
- ネットDER 2.0倍程度

可及的早期の復配を目指す

収益基盤の強化

- 事業の継続的な選択と集中
- 成長戦略の推進

事業ポートフォリオの戦略的構築

『ICT・電子』、『食料』、『環境』、『鉄鋼・プラント』の中で、今後成長の期待出来る事業に経営資源を重点的に配分します。

- ICTビジネス・電子ビジネスの収益増強
 - ⇒ソリューション事業基盤の拡大、中国・アジアでの取組強化
- 食料分野の事業基盤拡大と収益力強化
 - ⇒中国・アジア地域での販路拡大、食資源の供給体制強化
- 太陽電池関連など環境分野における事業基盤拡大と新規ビジネス立ち上げ
 - ⇒ 太陽光・電池分野に注力、EV関連事業への参画
- 鉄鋼・プラント分野における収益基盤拡大
 - ⇒ アジアにおける自動車関連事業の取り組み強化

経営基盤の強化

- 財務内容の改善
- 効率経営の推進
- 連結経営システムの高度化・深化
- グローバルな人材育成

財務内容の改善

- ネット有利子負債の削減、
資産ポートフォリオの組み換え

効率経営の推進

- 間接部門のスリム化などコスト構造の見直し

連結経営システムの高度化・深化

- 新経営管理システムの導入、内部統制整備、
コンプライアンス取組強化

グローバルな人材育成

- 連結経営を担う人材育成、海外人員の増強



“S-Project” 計画・実績

(億円)	2011/3期		2012/3期		2013/3期 計画
	計画	実績	計画	実績	
売上高	8,500	9,369	9,500	10,064	10,500
売上総利益	750	769	775	809	800
販管費	600	589	605	595	610
営業利益	150	180	170	214	190
経常利益	100	143	120	178	140
当期純利益	45	92	55	61	65
【セグメント別】					
売上高(外部売上高)	8,500	9,369	9,500	10,064	10,500
電子	2,300	2,539	2,450	2,531	2,600
食品・食糧	2,700	2,719	3,000	2,921	3,300
鉄鋼	900	988	1,000	991	1,150
機械・プラント	550	673	650	704	700
環境・素材	1,900	2,275	2,250	2,737	2,600
その他	150	176	150	179	150
営業利益	150	180	170	214	190
電子	70	95	75	90	80
食品・食糧	40	28	45	52	50
鉄鋼	25	34	30	36	35
機械・プラント	0	11	2	14	4
環境・素材	9	10	12	20	15
その他(含む調整額)	6	3	6	2	6



“S-Project”計画・実績

(億円)	2011/3期		2012/3期		2013/3期
	計画	実績	計画	実績	計画
総資産	4,000	3,887	4,040	3,998	4,100
自己資本	330	331	385	390	450
自己資本比率	8.3%	8.5%	9.5%	9.8%	10%超
グロス有利子負債	1,850	1,736	1,770	1,608	1,690
グロスDER (倍)	5.6	5.2	4.6	4.1	3.8
現預金	850	690	850	708	850
ネット有利子負債	1,000	1,046	920	900	840
ネットDER (倍)	3.0	3.2	2.4	2.3	2.0倍程度